

あとがき

編集顧問

糸満盛憲
越智隆弘
荻野利彦
小野啓郎
竹光義治
守屋秀繁
富田勝郎
山室隆夫
矢部 裕

編集主幹

菊地 臣一
編集委員
黒坂昌弘
清水克時
高岸憲二
土屋弘行
戸山芳昭
内藤正俊
吉川秀樹

編集同人

井形高明
生田義和
井樋栄二
岩田 久
岩本幸英
大井利夫
小野村敏信
加藤博之
金田清志
腰野富久
紺野慎一
榊田喜三郎
酒匂 崇
桜井 実

澤村 誠志
田辺剛造
田畑四郎
玉置哲也
中村耕三
馬場久敏
浜西千秋
廣谷速人
佛淵孝夫
三笠元彦
三浦隆行
持田譲治
山田治基
吉川靖三

先日、中国整形外科学会が北京で開催され出席してきたが、学会の規模の拡大のスピードに驚きを禁じ得なかった。約13億人という人口を有する国が急速に発展しつつある姿を如実に反映した学会の規模とスタイルの変化は、世界中から集まった参加者に強烈なイメージを印象付けるに十分であったと思われる。中国という国では、数年前までは、スライド発表の登録や発表会場での大きなトラブルの発生も日常茶飯事の出来事であった。今回の学会では、学会場のスライド受付の speakers ready room一つを例えてみても、ほぼ完璧な英語を話せる若いボランティアが何人もいて、動画での発表を敢えて避けていた自分は驚きを隠せなかった。また、世界中から参加している整形外科医の数、展示会場の規模と参加している企業の数など、アメリカ整形外科学会の模倣の域から抜け出ようとする新しい息吹を感じた。学問的な発表のレベルは、残念ながらほとんどが中国語の発表なので、その科学的な価値を判断することが難しいが、学会の運営の変化から考えると、将来の整形外科の学問的なレベルが発展してくることも想像に難くない。オリンピックを契機に発展した、国の政策とも考えられるが、今後どのような展開を示すのであろうか。日本に帰国すると、空気の澄んだ、全く違う街並みの美しい国土に安堵するが、全く違う環境でひたすら前進している隣国の姿を忘れてはならないような気がする。隣国の発展ぶりに目をパチクリさせられるだけに、今後若い整形外科医を育てるための、さらに充実した整形外科の教育システムの構築などを含めて、日本の整形外科医療がさらに充実していくことを切に望むものである。また本誌が若い整形外科医の先生方の学習の一助になることを期待したい。

本号には、「整形外科領域における蛍光イメージング」と題した誌上シンポジウムが組まれている。土屋弘行先生の緒言に見られるように、本領域の研究手法の発展ぶりは整形外科研究の発展に目覚ましく貢献している。臨床的な手技の進歩に加えて、視覚で理解できる新しい研究手法も多くの整形外科医の先生方に学んでいただき、さらなる研究の発展に本号が貢献できることを切望する。

(黒坂昌弘)

臨床整形外科 (第47巻第1号)

2012年1月25日発行(毎月1回25日発行)

定価 2,625 円(本体 2,500 円+税 5%)

2012年 年間購読料(税込、送料弊社負担)

冊子版 29,400 円

冊子+電子版/個人 34,400 円

冊子+電子版/共有 38,900 円

電子版/個人 29,400 円

電子版/共有 33,900 円

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinseige>

オンライン投稿 ID: rinseige パスワード: rinseige

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 編集室直通 (03)3817-5702(担当:石井・山崎)

販売部直通 (03)3817-5659・5660

ファクシミリ (03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 (株)アイワード 電話 (011)241-9341

広告申込所 (株)医薬広告社 電話 (03)3814-1971

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2012, Printed in Japan.

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・**JCOPY** (株)出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。